

観光立国の実現は地方から

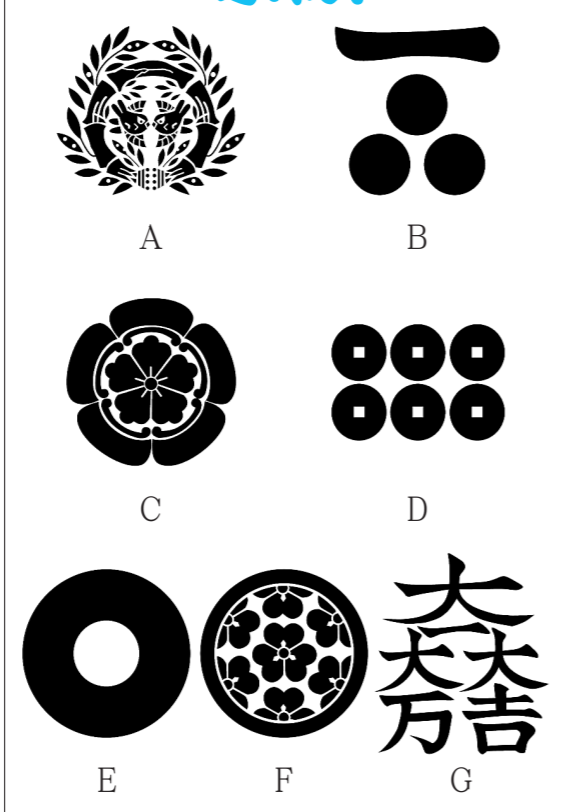
七人の戦国武将

ゆかりの観光地はどこか

群雄割拠の戦国武将たち。各国で領地を持って、虎視眈々と天下統一を目指しました。次のA～Gの戦国武将の名前を答えてください(9面に解答)。



家紋



A 幼名・梵天丸。妻は愛姫。仙台藩の藩祖で、都市開発にも力を入れた。家臣の支倉常長を使節団としてヨーロッパに送った。「曇りなき心の月を 先だてて 浮世の闇を照してぞ行く」

B 幼名・松寿丸。戦国時代有数の知将として知られる。さまざまな策を練って戦いに勝利した。息子達に向けた文書「三子教訓状」が有名。「夫れ天下に主たらんことを願う者は 能く一方に主たり」

C 幼名・吉法師。斎藤道三の娘、濃姫と結婚。「第六天魔王」「大うつけ」のあだ名もある。「天下布武」の号令のもと天下統一を目指したが、志半ばで殺害される。「人 城を頼らば 城 人を捨てん」

D 幼名・弁丸。本名・信繁。忠誠の志士として江戸時代以降、小説や講談で人気を博す。柄を朱色に塗っ

た十文字槍を使用。大坂夏の陣で徳川方を苦しめた。「関東勢百万と候え 男はひとりもなく候」

E 幼名・夜叉丸。豊臣秀吉の家臣で、「賤ヶ岳七本槍」の一人。猛将のイメージだが知略にも優れ、治水や築城の名手としても知られる。「人は一代 名は末代 天晴 武士の心かな」

F 幼名・弥三郎。若い頃は長身で色白だったため「姫若子」と呼ばれたが、勇猛果敢な戦での姿から「鬼若子」と恐れられるようになった。「一芸に熟達せよ 多芸を欲ばる者は巧みならず」

G 幼名・佐吉。豊臣政権下での五奉行の一人。「三献茶」の説話で知られる人物。関ヶ原では西軍の将として東軍と戦った。「大義を思うものは、首をはねられる瞬間まで一命を惜しむものだ」

◆お知らせ
次号の発行は1月30日付となります。
観光経済新聞社

観光指針

TVをゆくりと見られるのは正味くられた。番組表を見ると旅番組が実に多い。それだけ旅行が魅力的だから、それとも制作が安上がりで安直だからか見込めがあったのはNHK「世界一番紀行」(元巨)・エール、迷宮都市一番のモロッコ・フェズなどの紹介だ。有名俳優が1人旅をする。未知の世界をかい見ると楽しみの世界をかい見ると感したのは人々との出会いや交流、さらには朝食を共にするといふ「旅」ならではの醍醐味だ。エールアルトは標高4千メートルを超えるアンデスの厳しい環境の街、ここに住むチヨリータ(山高帽に伝統衣装の女性、家族の生活ぶりを描く。彼女が縫製するポリエラ(ヒタの多い長いスカート)をラパスの市場に、一緒に売り込みに行き。別れの日、風呂敷やGパンを巾着とバッグに作り替え、家族にプレゼントする)フェズは迷いこんだら二度と出られぬ千年迷路。袋小路をたどりながら市場の店主たちと交流したり、子供に声をかけて怪しまれ、追い返されたりする。たまたま知り合った金持一家に招かれ、親しくなったり人姉妹と人生論を▼ここにあるのは旅の原点だ。旅行商品とはテストティンションを並べることでない。旅する心で旅行する。旅の醍醐味というスパイスの効かない血は売れない。

Hospitality
後継者育成
昼1年専門課程
YMCA
ホテル専攻科
旅館経営コース
少人数制のゼミ形式の授業で、自ら考える力、マネジメント力を養います。
東京YMCA
国際ホテル専門学校
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12
TEL 03 (3202) 7480
Mail: ihs-info@tokyo.ymca.or.jp
http://hotel.ymsch.jp/

旅館業界で10年の信頼と実績。豊富なノウハウで、**700社以上の** 企画制作実績!!
アビリティコンサルティング(株) 検索
実績はコチラ!! クリック
<http://www.ab-net.co.jp/>
ご相談・お問い合わせはお気軽に!!
TEL: 052-262-8041
TEL: 03-6777-7804
株式会社アビリティコンサルティング

5つ星の宿 海紀行
かもめ舞う海の絶景露天風呂 南三陸温泉
気仙沼プラザホテル「気仙沼温泉」開湯!! 祝開湯
気仙沼の港を臨む露天風呂。海を眺めながらの温泉は、昨年1月に待望の温泉を開湯しました。活気ある温泉地を堪能してください。日本有数の水揚げを誇る気仙沼の新鮮な海産物も合わせて堪能ください。

南三陸 ホテル観洋 〒986-0766 宮城県本吉郡南三陸町黒崎99-17
TEL: 0226-46-2442(代)
ホテル観洋
http://www.kanyo.co.jp

気仙沼 観光ホテル観洋 〒988-0021 宮城県気仙沼市港町4-19
TEL: 0226-24-1200(代)

気仙沼 プラザホテル 〒988-0014 宮城県気仙沼市本町1-1
TEL: 0226-23-1313(代)

週刊 観光経済新聞
宿泊・旅行業運輸・自治体 (観光全般)

日本専門新聞協会加盟紙
国土交通省交通運輸記者会所属
発行所
東京都台東区池之端2-1-1
D Sビル 110-0008
株式会社 観光経済新聞社
電話 03(3827)9800(代)
FAX 06(3827)9730

関西支社
大阪市北区天満2-1-20
天満松茂ビル 千530-0043
電話 06(6354)6166・6290
FAX 06(6354)6292

北海道支社
札幌市東区北22条南3丁目
ハイテクビル202 千065-0022
電話 011(207)3777
FAX 050(3488)4375

東北支社
仙台市青葉区本町1-12-7
本町プラザビル8F 千980-0014
電話 022(225)8390
FAX 022(225)0850

九州支社
福岡市博多区博多駅前4-4-21
クリンビル3F 千812-0011
電話 092(477)5711
FAX 092(471)0778

購読料年間一部8,400円
(うち消費税 400円)
郵送料 2,600円

振替口座 00140-2-86888番
E-mail info@kankokeizai.com

ホテルの
資金計画を
しっかり
サポート

申込書とクーポン券を事前にFAX
クーポン到着日に資金化されます。

株式会社 オートリ
TEL 03-5210-2530
URL <http://www.ohtrif-gn.co.jp/>

【日本ホテルファンドと
Mr.クーポン事業を継承】

観光立国実現は地方から推進を
一、旅行業と旅館・ホテルの真の一体感を
一、宿泊料金の価格アップを推進しよう
一、高齡化・情報化環境問題に対応を

